

令和8年度県民防災講演会

鹿児島県の気象災害と 新たな防災気象情報

～令和8年5月29日から気象の警報などが大きく変わります～



令和8年5月17日
鹿児島地方気象台
次長 山口 健司

- 1 鹿児島県の気象災害（大雨・台風）
- 2 令和7年8月8日大雨特別警報事例
- 3 **新たな防災気象情報**

→ 令和8年5月29日から運用開始予定



1 鹿児島県の気象災害①

鹿児島県では、台風の襲来や前線の活発化に伴う大雨災害がたびたび発生し、土砂災害や河川の氾濫などで、多くの尊い人命が犠牲になっています。

● 枕崎台風

- ✓ 昭和20（1945）年9月17日枕崎上陸（終戦直後を襲った猛烈な台風）
- ✓ 死者・行方不明者約3,800名（うち広島県2,000名超える）
- ✓ **枕崎(9/17)：最低気圧916.1hPa** 最大瞬間風速62.7メートル（通年1位）
最大潮位偏差2.0メートル

● 「平成5（1993）年8月豪雨」：梅雨前線

- ✓ **8月6日を中心に県内で激しい雨（8.6豪雨）**
日降水量（8/6）川内369ミリ（通年1位）
鹿児島259.5ミリ（8月2位）など
- ✓ 鹿児島市竜ヶ水など**各地で土砂崩れ発生**
- ✓ **甲突川が氾濫**し家屋の浸水・流出

【8.6豪雨】JR竜ヶ水駅付近
(県警察本部提供)



● 「平成18（2006）年7月豪雨」：梅雨前線

- ✓ 7月22日を中心に豪雨
日降水量（7/22）阿久根509.5ミリ（通年2位）など
- ✓ 土砂災害や河川の氾濫で死者5名

さつま町虎居地区
(九州地方整備局提供)



● 平成22（2010）年10月：停滞前線＋台風

- ✓ **奄美地方で記録的な大雨**、日降水量（10/20）名瀬622ミリ（1位）

平成22（2010）年10月には奄美地方で記録的な大雨となり、これまでに経験したことのないような大きな被害となりました。

1 鹿児島県の気象災害②

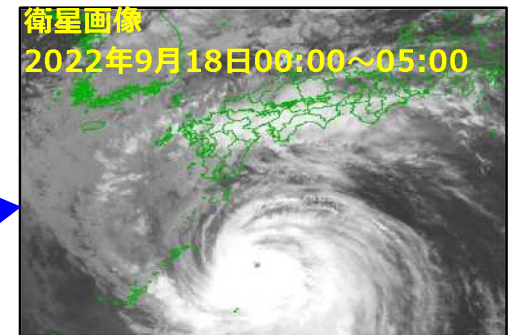
・令和2（2020）年7月：梅雨前線（大雨特別警報発表） ← 県内初の大雨特別警報

- ✓ 薩摩地方で記録的な大雨（長島町、阿久根市、出水市、伊佐市など）
- ✓ 1時間降水量（7/3）東市来98.5ミリ（通年1位）八重山94.5ミリ（通年3位）
- ✓ 住家被害、土砂災害、河川の氾濫等が発生。

※台風を要因とする特別警報
（暴風・波浪・高潮）

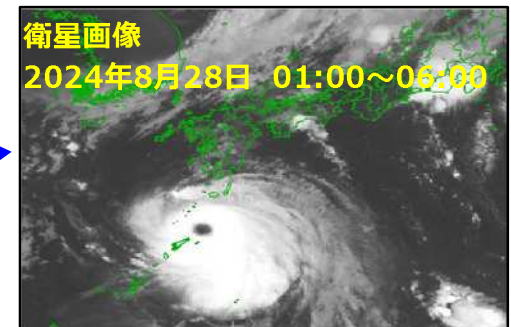
・令和3（2021）年7月：梅雨前線（大雨特別警報発表）

- ✓ 薩摩地方で記録的な大雨（阿久根市、薩摩川内市、出水市、伊佐市、さつま町など）
- ✓ 日降水量（7/10）さつま柏原418.5ミリ（通年1位）
- ✓ 土砂災害や河川の氾濫、浸水害が発生。



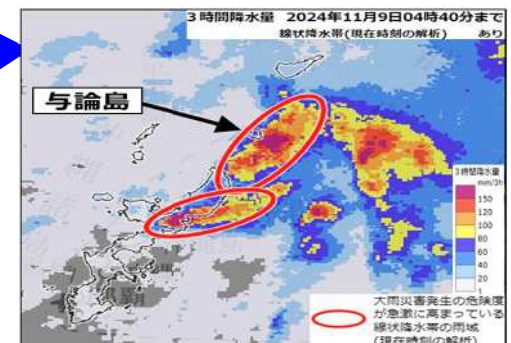
・令和4（2022）年9月：台風第14号（暴風・波浪・高潮特別警報）※

- ✓ 9月18日19時頃に鹿児島市付近に上陸
- ✓ 日降水量（9/18）鹿屋317.0ミリ（9月1位）輝北318.5ミリ（9月1位）
- ✓ 大隅地方を中心に観測史上1位の最大瞬間風速を観測
- ✓ 人的被害（負傷者）、住家被害、土砂災害等が発生。



・令和6（2024）年8月：台風第10号（暴風・波浪・高潮特別警報）※

- ✓ 8月29日08時頃に薩摩川内市付近に上陸
- ✓ 24時間降水量（8/29）肝付前田507.5ミリ（8月1位）
- ✓ 最大瞬間風速（8/28）上中36.4㍎ 尾之間44.4㍎ほか
- ✓ 人的被害、住家被害等が発生。



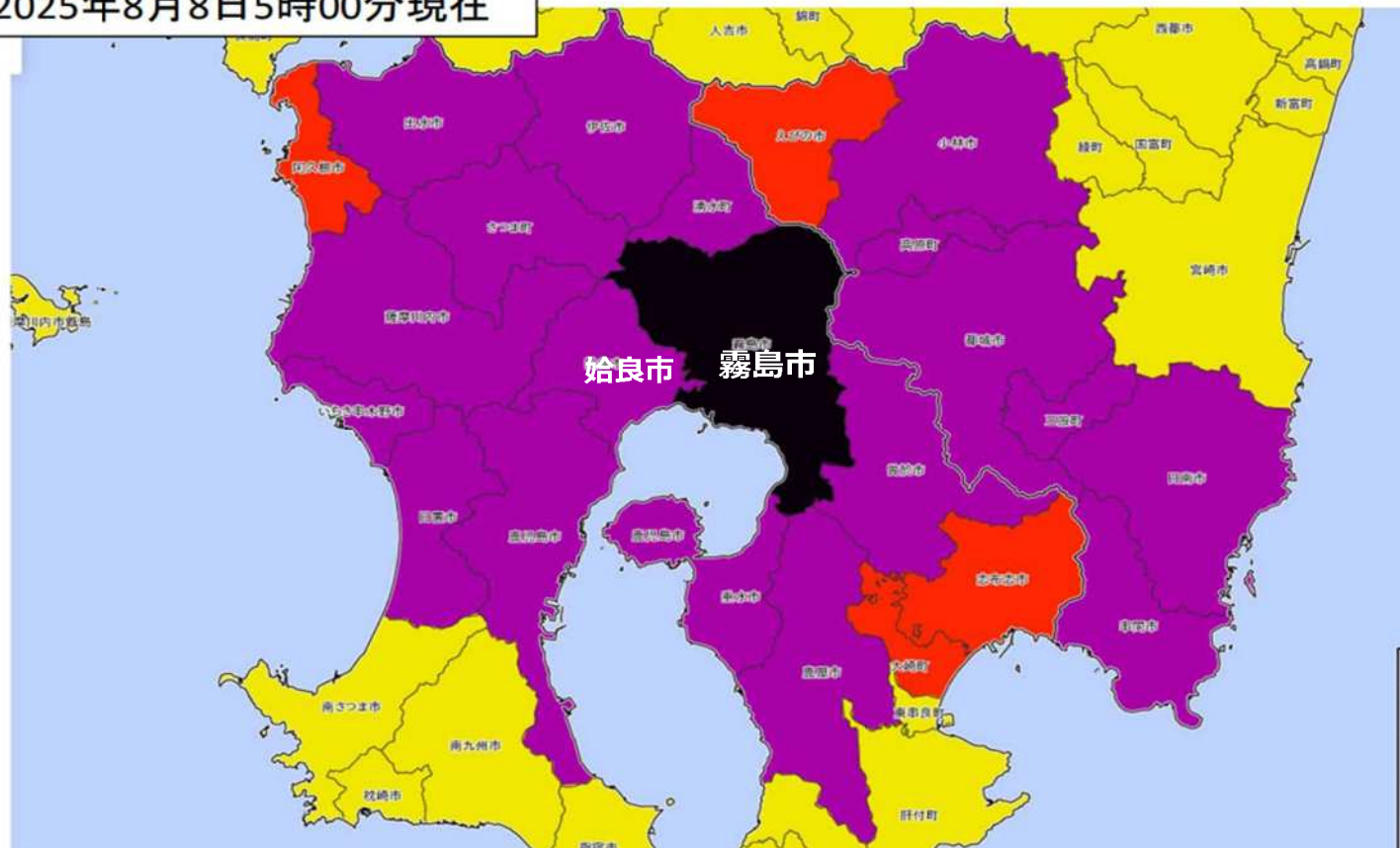
・令和6（2024）年11月：前線（大雨特別警報発表）

- ✓ 与論町で記録的な大雨、期間（7日16時～10日21時）総降水量666.0ミリ
- ✓ 24時間降水量（11/9）与論島594.0ミリ（通年1位）
- ✓ 記録的短時間大雨情報、顕著な大雨に関する気象情報（線状降水帯）
- ✓ 床上浸水の住家被害等が発生。

2 令和7年8月8日の 大雨特別警報事例

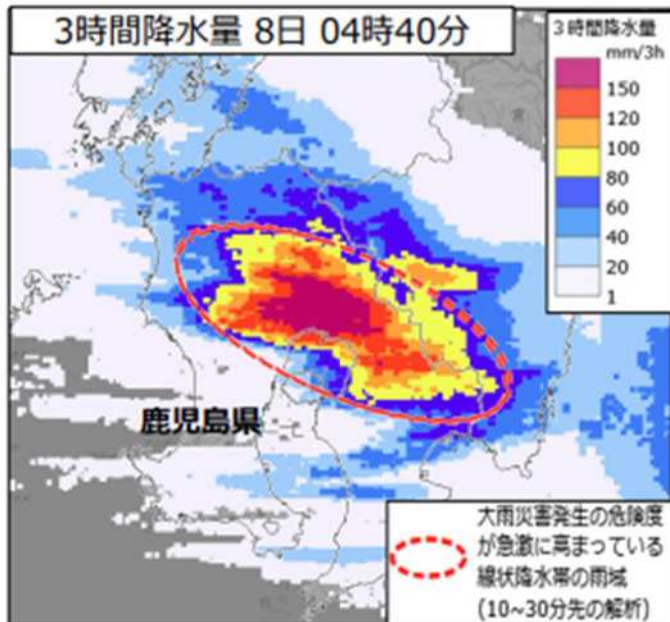
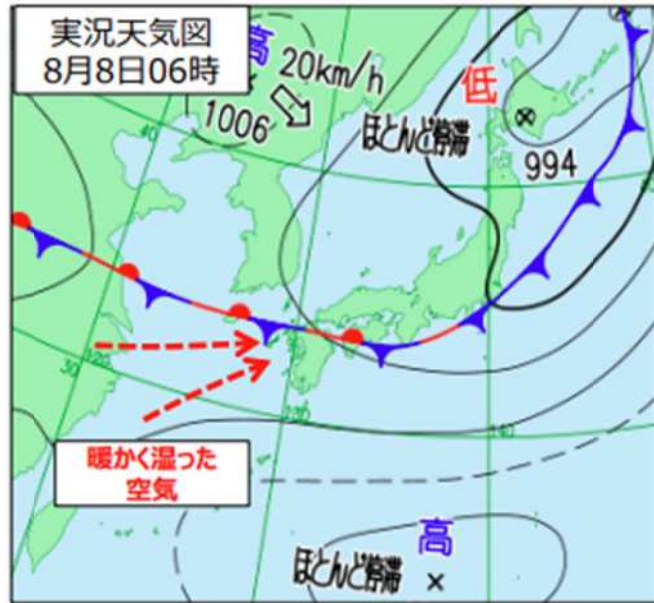
令和7年8月8日05時00分 大雨特別警報(土砂災害)発表 (鹿児島県霧島市)

2025年8月8日5時00分現在



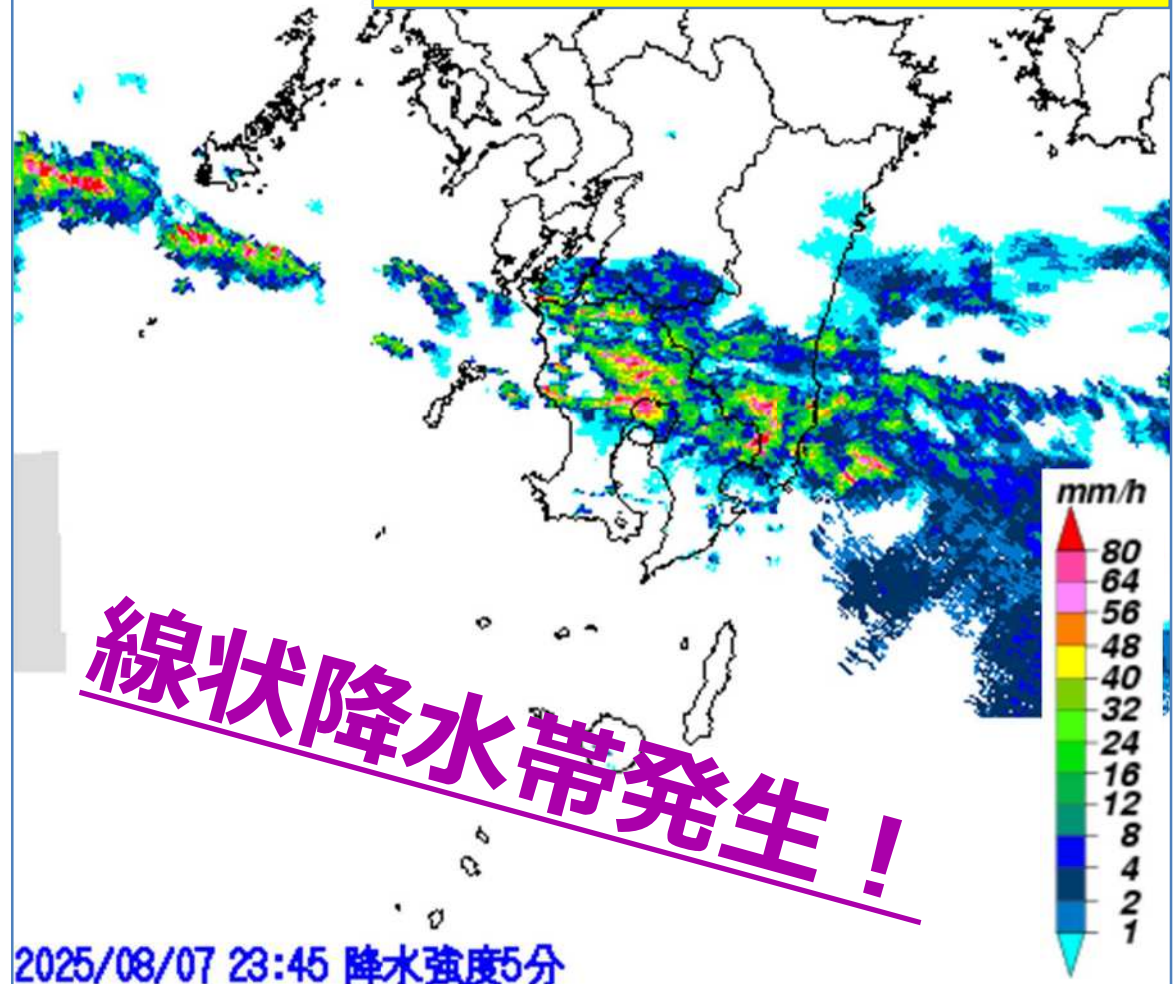
- 大雨特別警報
 - 特別警報(大雨以外)・高潮警報
土砂災害警戒情報
 - 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
 - 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
 - 発表なし
- *1 高潮警報に切り替える可能性が高い
*2 上記以外の高潮注意報

令和7年8月7日～8日の大雨

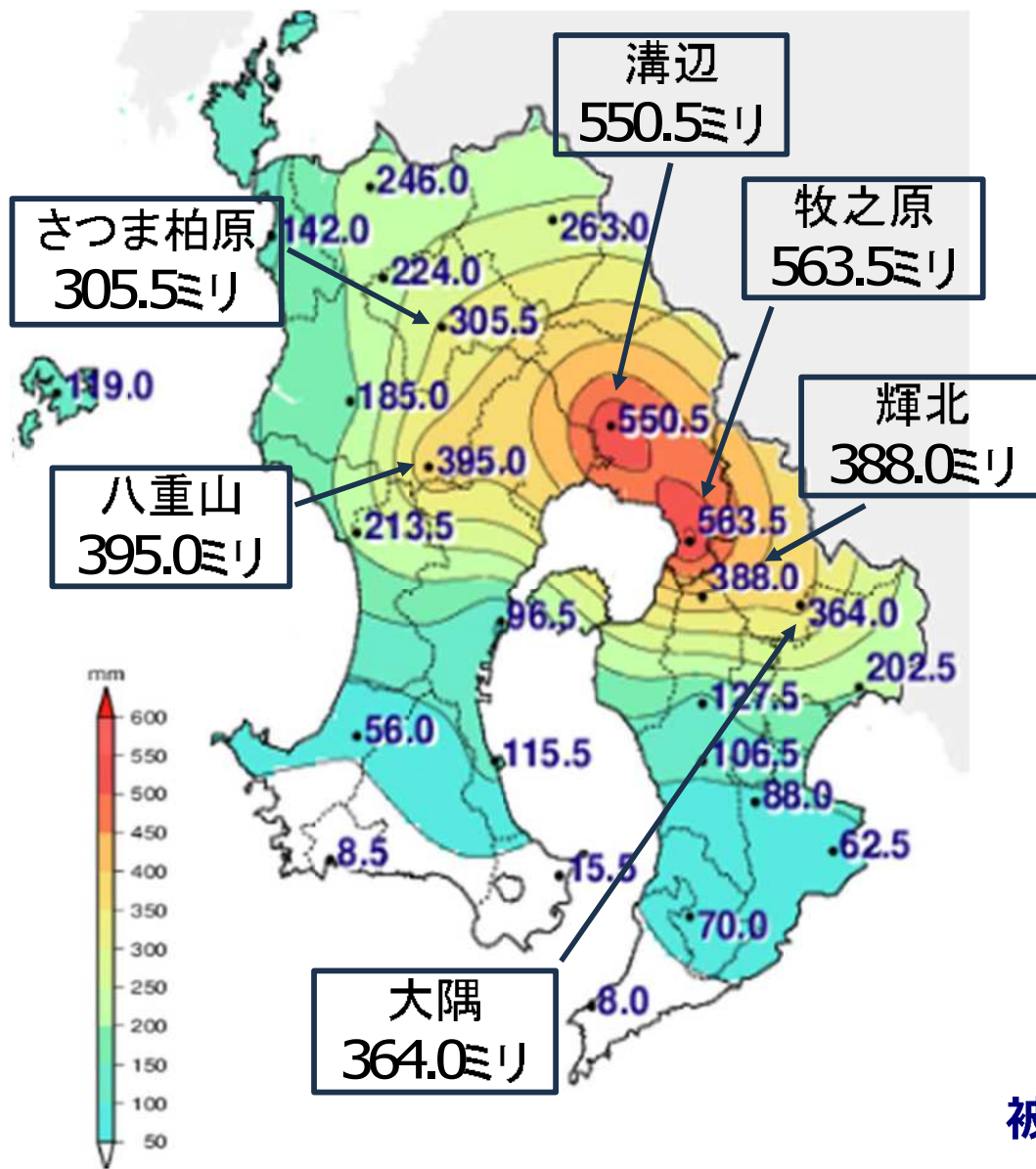


雨雲の動き (8月7日23:45～8日03:00)

発達した雨雲が同じところ
に次々と流れ込む!



各地の総降水量（8月7日～8日）



【写真】九州地方整備局（鹿児島県）提供

被害の状況（鹿児島県調べ）

死者1名、負傷者5名、住家全壊2棟
床上浸水376棟、床下浸水432棟

8月の月降水量を上回る！

各種防災気象情報の発表状況

府県気象情報の発表状況 8月7日以降

・大雨に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報 **第1号**（8/7 11時35分）



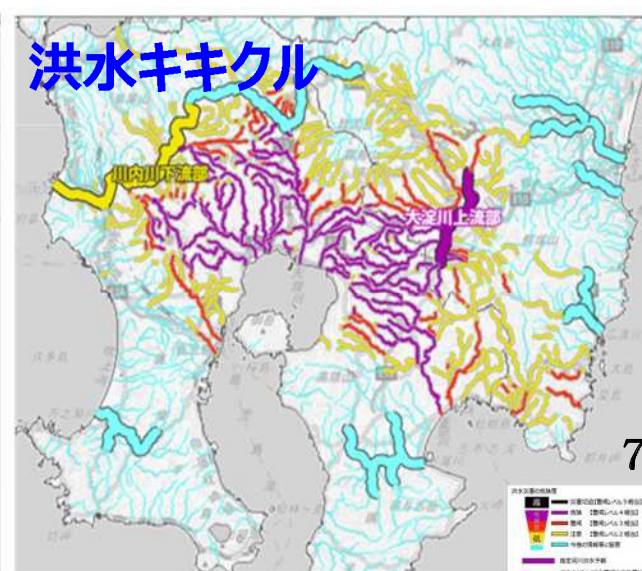
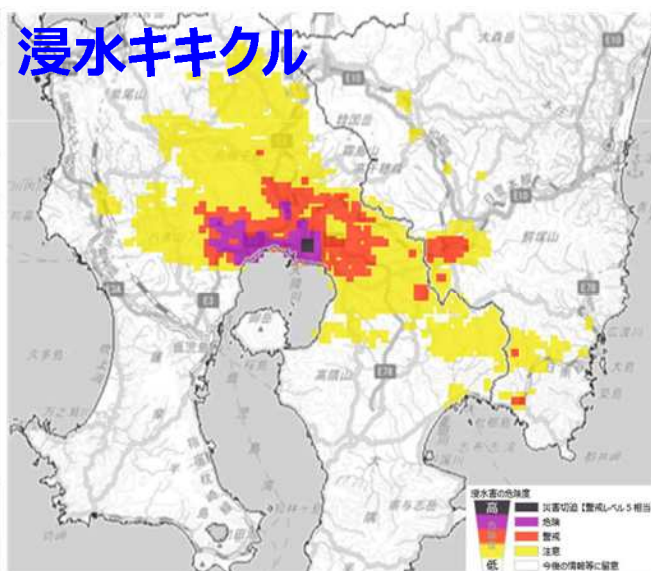
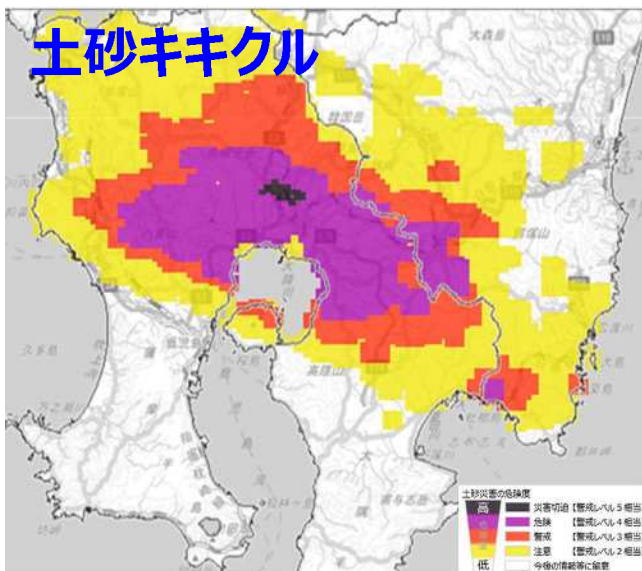
・大雨と突風に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報 **第2号～第25号**
（8/7 16時20分 ～ 8/11 10時58分）

・顕著な大雨に関する鹿児島県（奄美地方を除く）気象情報 **第1号、第2号**
（8/8 01時07分、8/8 04時47分）

土砂災害警戒情報の発表状況 8月7日～9日

・第1号（7日22時21分） ～ 第13号（9日06時40分）

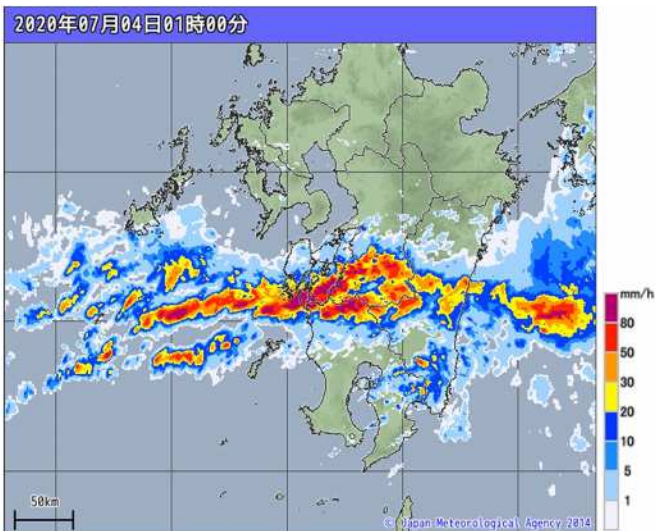
対象地域：霧島市、曾於市、日置市、鹿児島市、始良市、薩摩川内市、さつま町、湧水町、
鹿屋市、伊佐市、垂水市、出水市、いちき串木野市、薩摩川内市甕島（**14市町**）



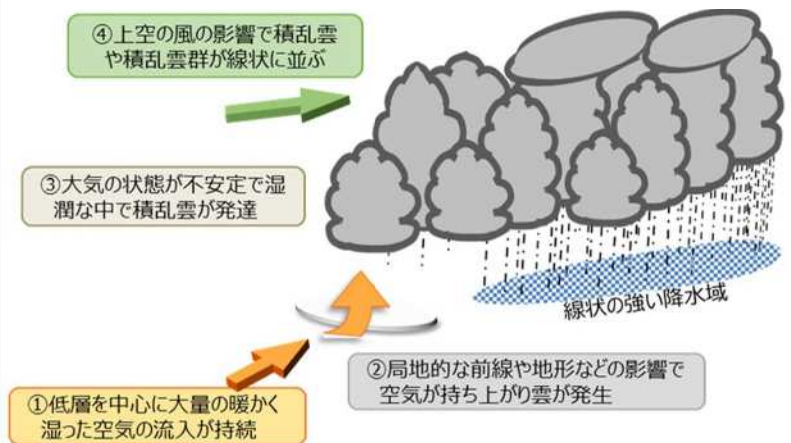
線状降水帯について

➤ 近年、線状降水帯による大雨によって、たびたび甚大な被害が発生！

令和2年7月豪雨時の
「雨雲の動き」(高解像度降水ナウキャスト)



線状降水帯の代表的な発生メカニズムの模式図



線状降水帯が発生した大雨事例

2014年8月	<p>広島土砂災害 (平成26年8月豪雨)</p> <p>同時多発的に土石流が発生 死者74人 (出典:平成26年版 消防白書)</p>	
2015年9月	<p>平成27年9月関東・東北豪雨</p> <p>茨城・鬼怒川が決壊・土砂災害 死者8人 (出典:平成27年版 消防白書)</p>	土砂災害
2017年7月	<p>平成29年7月九州北部豪雨</p> <p>山地部の中小河川の氾濫・土砂災害 死者・行方不明者41人 (出典:平成29年版 消防白書)</p>	中小河川洪水
2018年7月	<p>西日本豪雨 (平成30年7月豪雨)</p> <p>各地で河川の氾濫や土砂災害 死者・行方不明者232人 (出典:平成30年版 消防白書)</p>	洪水
2020年7月	<p>令和2年7月豪雨</p> <p>熊本・球磨川の氾濫・土砂災害 死者・行方不明者86人 (出典:令和2年版 消防白書)</p>	洪水

3 新たな防災気象情報

新たな防災気象情報 ～気象の警報などが大きく変わります～ (令和8年5月29日から運用開始予定)



警戒レベルとは

- 住民が災害時にとるべき避難行動が直感的にわかるよう避難情報等を5段階の警戒レベルに整理。（平成30年7月豪雨の教訓を踏まえ、令和元年出水期から運用開始。）
- その後、令和3年の災害対策基本法改正により、警戒レベル4にあたる避難勧告と避難指示が避難指示に一本化。

災害発生の危険度を直感的に理解！

令和3年5月20日から
警戒レベル4 避難指示で必ず避難
避難勧告は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	緊急安全確保 ^{※1}	災害発生情報 (発生を確した時点で発令)
4	避難指示 ^{※2}	避難指示(緊急) 避難勧告
3	高齢者等避難 ^{※3}	避難準備・ 高齢者等避難開始
2	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)	大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)
1	早期注意情報 (気象庁)	早期注意情報 (気象庁)

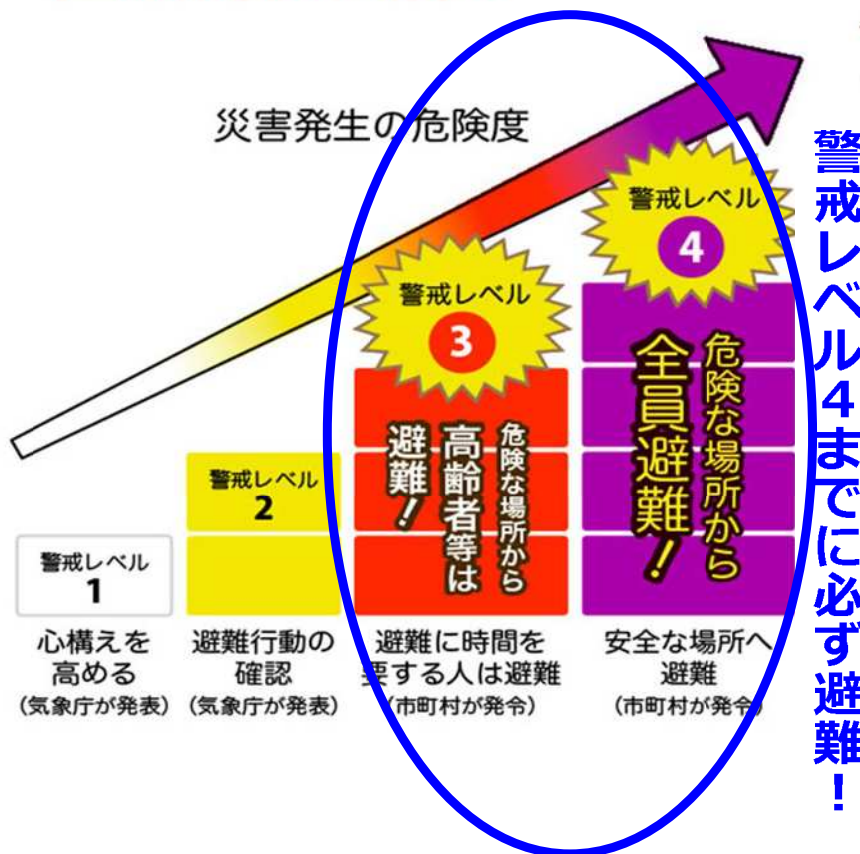
※1 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができません。命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を受けてはけません！
※2 避難指示は、これまでの避難指示のうちレベル4を統合することにより発令します。
※3 警戒レベル3は、高齢者等避難開始から避難準備・高齢者等避難開始に名称変更し、避難の準備を促すことに変更する予定です。

警戒レベル5は、すでに安全な避難ができません。命が危険な状況です。警戒レベル5緊急安全確保の発令を受けてはけません！

避難勧告は廃止されます。これからは、警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

避難に時間がかかる高齢者や障害のある人は、警戒レベル3高齢者等避難で危険な場所から避難しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁



警戒レベル
5
災害の発生または切迫

直ちに安全確保！
命の危険

緊急安全確保
確保
(市町村が発令)



避難するタイミングは 「レベル3」と「レベル4」



現在の防災気象情報と警戒レベル

- **なぜ今、防災気象情報が変わるのでしょうか！**
- **「警戒レベルとの整合が十分にとれていない」、「避難するタイミングがわかりにくい」という課題があり、これらを解決するための情報の整理が必要となりました。**

警戒レベル				現在の防災気象情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報（避難情報等）	防災気象情報				
				洪水等に関する情報			土砂災害	高潮災害
				指定河川 洪水予報 (河川毎)	洪水災害 (市町村毎)	大雨浸水害 (市町村毎)		
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)	大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報
<警戒レベル4までに必ず避難！>								
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報		土砂災害警戒情報	高潮特別警報 高潮警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難※	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報 (土砂災害)	警報に切り替える可能性が高い 高潮注意報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認する	洪水、大雨、高潮注意報	2相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報	1相当				

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

防災気象情報と警戒レベルとの関係が分かりづらいという課題があり、「防災気象情報に関する検討会」において2年半かけて検討。その最終とりまとめ（令和6年6月）に沿って防災気象情報を改善。

防災気象情報の課題

警戒レベル				現在の防災気象情報（警戒レベル相当情報）				
警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	行動を促す情報（避難情報等）	防災気象情報				
				洪水等に関する情報			土砂災害	高潮災害
				指定河川 洪水予報 (河川毎)	洪水災害 (市町村毎)	大雨浸水害 (市町村毎)		
5	災害発生又は切迫	命の危険 直ちに安全確保！	緊急安全確保	5相当	氾濫発生情報	大雨特別警報 (浸水害)	大雨特別警報 (土砂災害)	高潮氾濫発生情報
4	災害のおそれ高い	危険な場所から 全員避難	避難指示	4相当	氾濫危険情報	1	土砂災害警戒情報	2 高潮特別警報 高潮警報
3	災害のおそれあり	危険な場所から 高齢者等は避難*	高齢者等避難	3相当	氾濫警戒情報	洪水警報	大雨警報 (土砂災害)	3 警報に切り替える 可能性が高い 高潮注意報
2	気象状況悪化	自らの避難行動を 確認する	洪水、大雨、 高潮注意報	2相当	氾濫注意情報	洪水注意報	大雨注意報	高潮注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを 高める	早期注意情報	1相当				

市町村は、警戒レベル相当情報などを参考に、総合的に避難指示等の発令を判断する

「いつ避難すればよいのか」、「どの情報が避難判断の目安になるのか」がわかりづらい

- ① 警戒レベルに対応する情報が存在しないものがある
- ② 名称に統一性がない（土砂災害警戒情報）
- ③ 高潮警報・特別警報がどちらも警戒レベル4相当に位置づけられている など

利用する立場の方々が、「分かりやすく、そして避難行動につなげやすい」、情報にする必要がある！

「レベルの数字＋現象名＋注意報や警報」という構成で統一、誰もが警戒レベルを把握できる情報へ！

新たな防災気象情報の情報体系とその名称

- 防災気象情報（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）を5段階の警戒レベルにあわせて発表します。
- 対象災害ごとの情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として危険警報を新設します。**
- **情報名称そのものにレベルの数字を付けて発表します。**（例：レベル4大雨危険警報等）

	河川氾濫 1級河川などの大河川の氾濫	大雨 低地の浸水や大河川以外の氾濫	土砂災害 急傾斜地のがけ崩れや土石流	高潮 海水面の上昇や波の打上げによる浸水	(警戒レベルごとの) 住民が とるべき行動
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報	命の危険 直ちに安全確保！
<警戒レベル4までに危険な場所から かならず避難！>					
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報	危険な場所から全員避難
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報	避難に時間を要する人は早めに 避難、避難の準備など
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報	避難行動を確認（避難場所や 避難ルート、避難のタイミングなど）
警戒レベル 1	早期注意情報				災害への心構えを高める

※ 「レベルの数字＋現象名＋注意報や警報」という構成で統一

※ 土砂災害警戒情報は「レベル4 土砂災害危険警報」に変わります。

①河川氾濫：大きな河川のみ対象（指定河川洪水予報の対象河川） ※川内川、肝属川など

②大雨：中小河川の外水氾濫、内水氾濫、低地の浸水



**警報・注意報の情報名に「レベル」が付記
されます**

警戒レベルに整合させることで発表されてる**情報の名称を見れば、とるべき行動が分かる**ようになります



**河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります
(特別警報の新設など)**

洪水予報河川の氾濫については「**河川氾濫**」で、洪水予報河川以外の氾濫は低地の浸水と合わせて「**大雨**」に関する情報で発表します



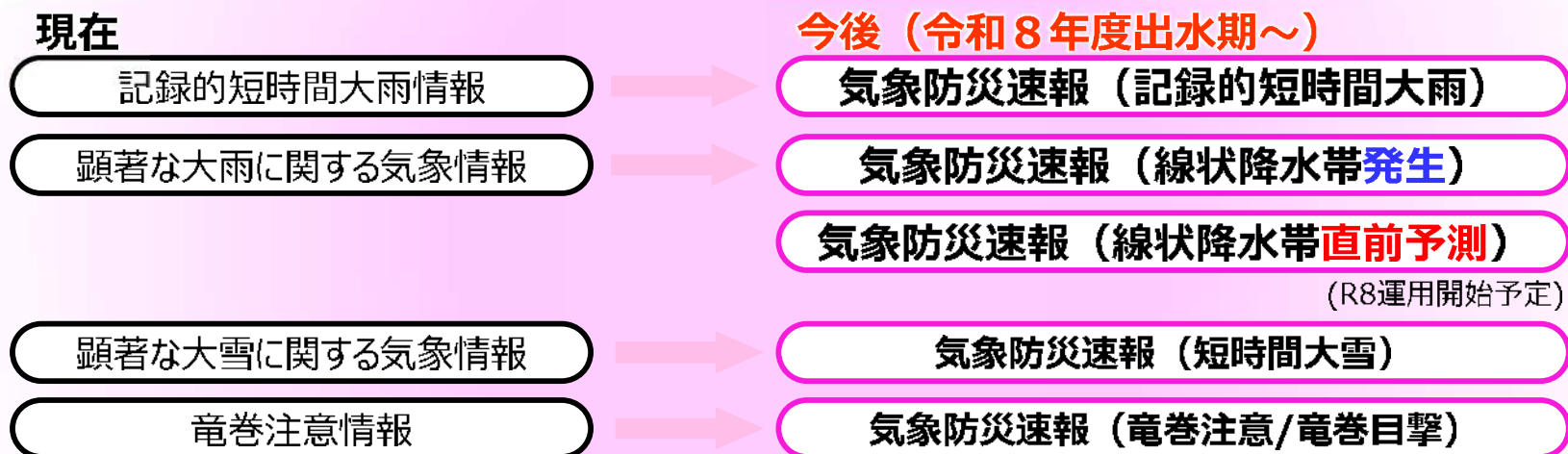
**「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」
として発表されます**

対象災害ごと（河川氾濫、大雨、土砂災害、高潮）の情報として整理するとともに、**レベル4相当の情報として「危険警報」を新設**します

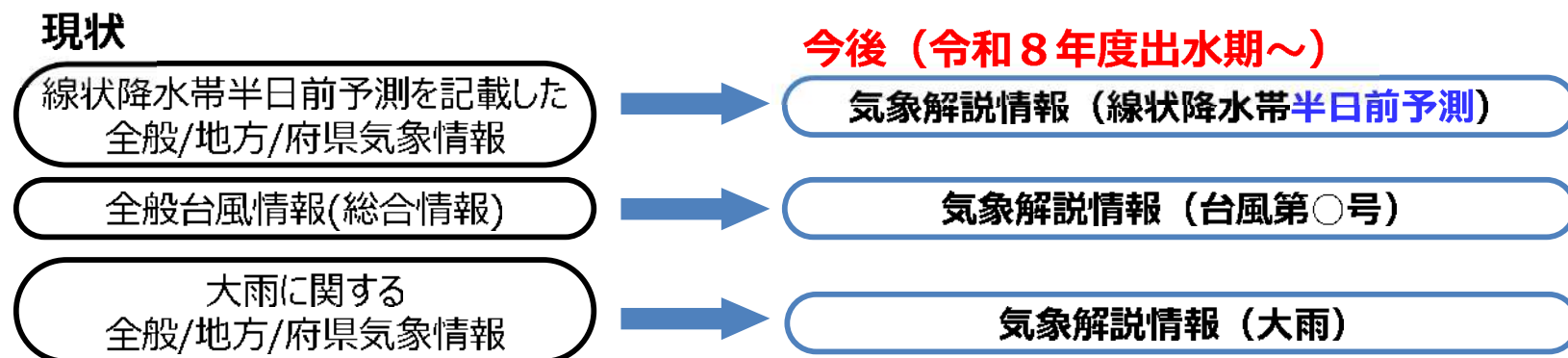
新しい防災気象情報 ～気象情報

- 線状降水帯の発生や、記録的な短時間大雨など、**顕著現象が発生または発生しつつある場合に「気象防災速報」を発表。**
- 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する「気象解説情報」も適宜に発表。

気象防災速報 …… 極端な現象を速報的に伝える情報 (府県単位でのみ発表)



気象解説情報 …… 現在・今後の気象状況を網羅的に解説する情報 (全国・地方・府県単位で発表)



新しい防災気象情報 ～線状降水帯直前予測

発生の“直前”に発表！命を守る行動をこれまでより早い段階で取れる

発生情報

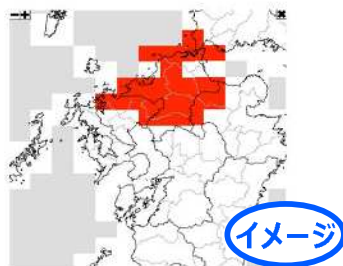
令和3年	線状降水帯の発生をお知らせする情報
令和5年	最大 30分 程度前倒し



線状降水帯の雨域を楕円で表示

直前予測

令和8年
2～3時間前を目標に
予測情報を発表



イメージ

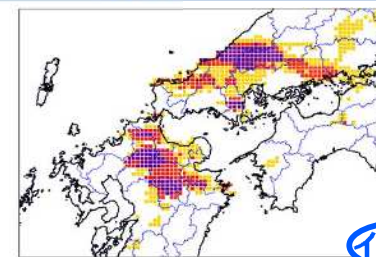
補足情報として、線状降水帯による大雨の恐れがある大まかな領域を図情報で表示（予定）

半日前予測

令和4年	地方単位 で予測
令和6年	府県単位 で予測

↓ さらに**対象地域を狭める**

令和11年
市町村単位で把握可能な危険度分布形式の情報を提供



イメージ

線状降水帯発生の可能性が把握可能な分布形式で表示（予定）

気象防災速報(線状降水帯直前予測)

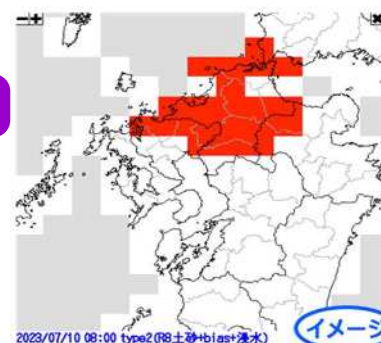
鹿児島県気象防災速報（線状降水帯直前予測） 第1号
令和〇年〇月〇日〇〇時〇〇分 鹿児島地方気象台
(見出し)

文章形式

鹿児島県薩摩地方(一次細分区域)では、今後3時間以内に線状降水帯が発生し、非常に激しい雨が同じ場所で降り続く可能性が高まっています。命に危険が及ぶ災害発生の危険度が急激に高まるおそれがあります。

イメージ

線状降水帯予測マップ^c 分布形式



イメージ

20km格子

捕捉率100%

適中率50%

イメージ

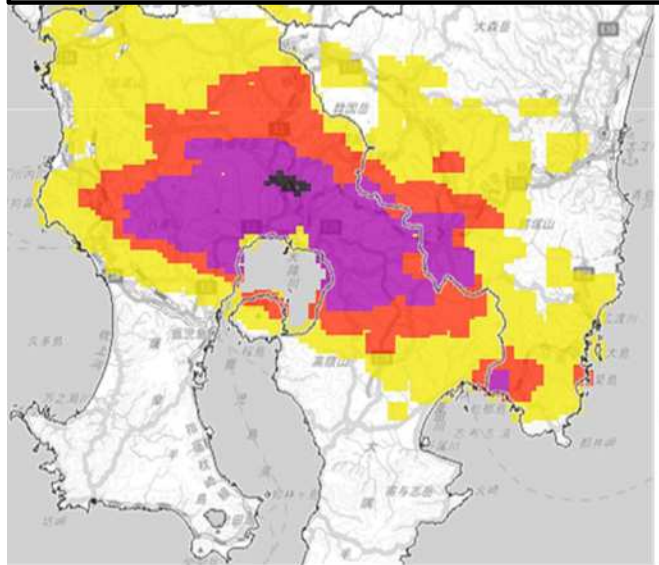
キキクルの活用について

土砂災害、浸水害、洪水災害の3種類を、5段階に分けた警戒レベルを、1km格子の細かさで色分けし、地図上に表示。10分ごとに更新。

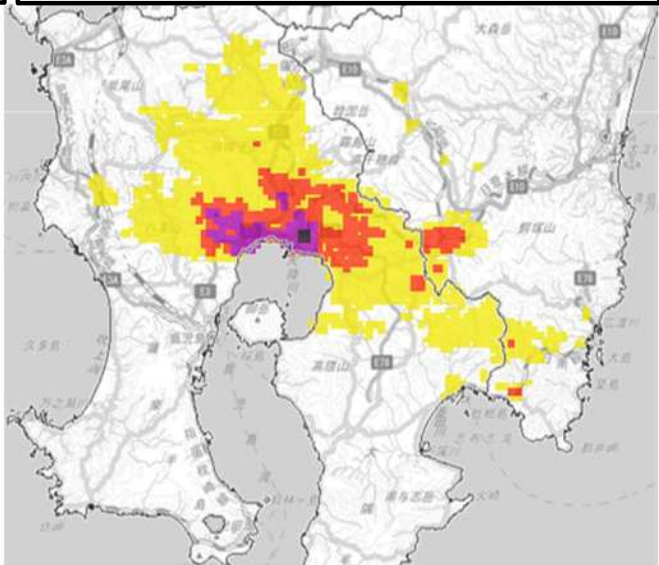
1km四方の細かさで色分け

洪水キキクルは河川流路に沿って色分け

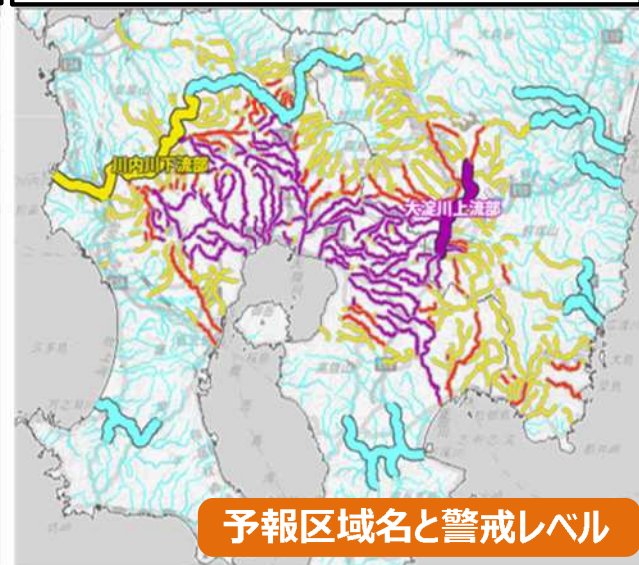
土砂キキクル
(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)



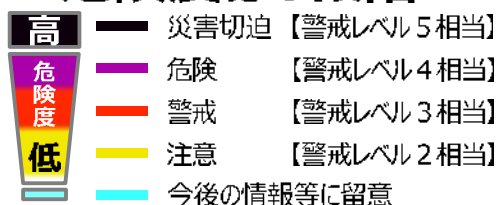
浸水キキクル
(大雨警報(浸水害)の危険度分布)



洪水キキクル
(洪水警報(洪水災害)の危険度分布)



危険度は5段階



注意報や警報は市町村ごとに発表
キキクルは1km格子で色分け表示

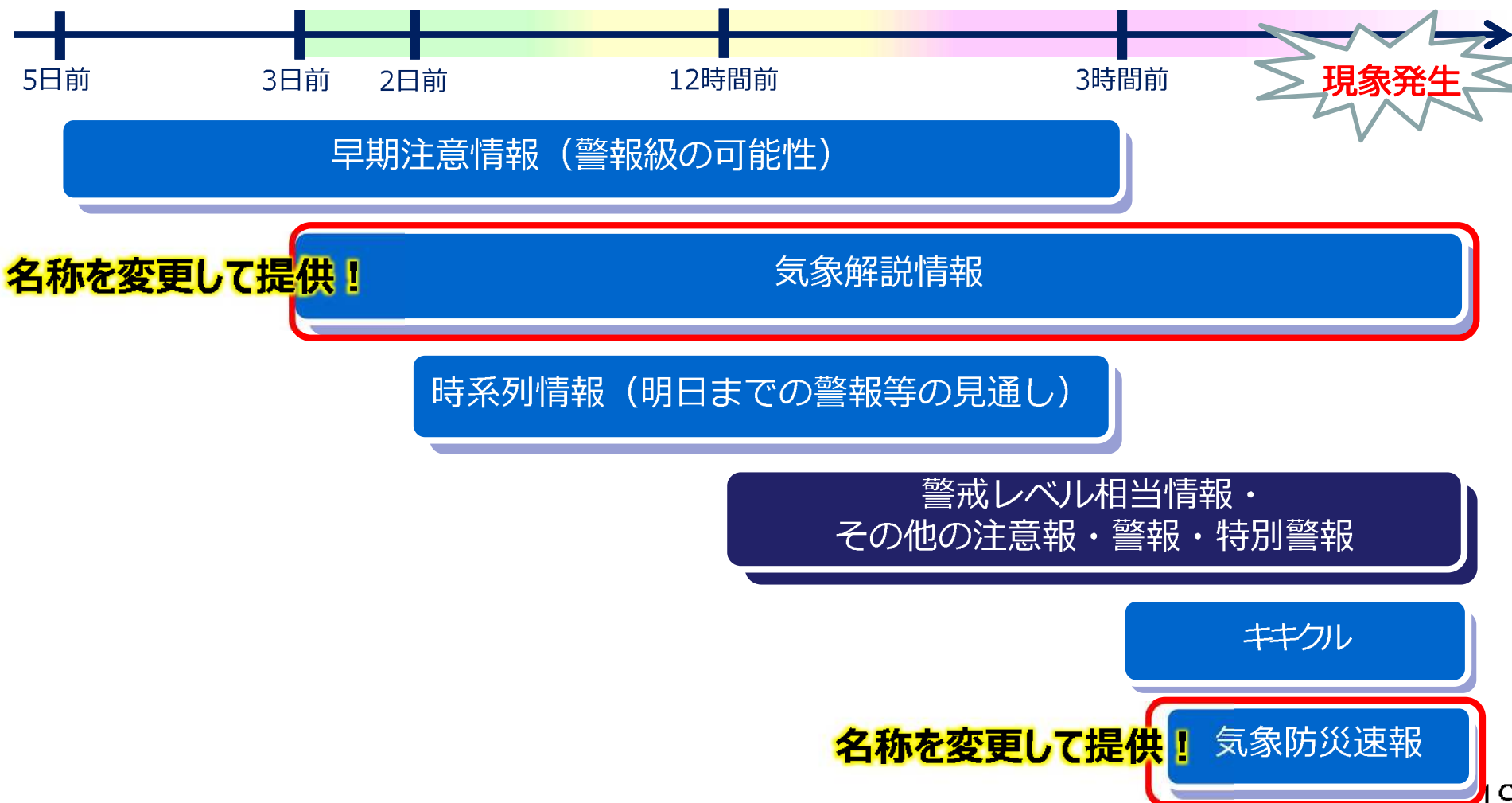


一層詳細を把握

レベル3大雨警報などに対応するため大雨キキクルも新設します！

段階的に発される防災気象情報

- 警戒レベル相当情報とあわせて、**段階的に発表される様々な防災気象情報を防災対応の判断に活用**することが重要です。
 - **早期注意情報**や**時系列情報**等は、心構えを高め、事前の体制確保の検討に活用。
 - **キキクル**や**気象防災速報**は、避難の判断や後押しに活用してください。



新たな防災気象情報の特設サイト

気象庁ホームページ 特設サイト開設



<鹿児島地方気象台ホームページ>

新たな防災気象情報について(令和8年~)

令和8年5月下旬(予定)より
気象の警報などが大きく変わります

	河川氾濫	大雨	土砂災害	高潮
警戒レベル 5相当	レベル5 氾濫特別警報	レベル5 大雨特別警報	レベル5 土砂災害特別警報	レベル5 高潮特別警報
警戒レベル 4相当	レベル4 氾濫危険警報	レベル4 大雨危険警報	レベル4 土砂災害危険警報	レベル4 高潮危険警報
警戒レベル 3相当	レベル3 氾濫警報	レベル3 大雨警報	レベル3 土砂災害警報	レベル3 高潮警報
警戒レベル 2	レベル2 氾濫注意報	レベル2 大雨注意報	レベル2 土砂災害注意報	レベル2 高潮注意報
警戒レベル 1	早期注意情報			

- 警報・注意報の情報名に「レベル」が付記されます
- 河川の氾濫の危険度の伝え方が変わります(特別警報の新設など)
- 「警戒レベル4相当」の情報は「危険警報」として発表されます

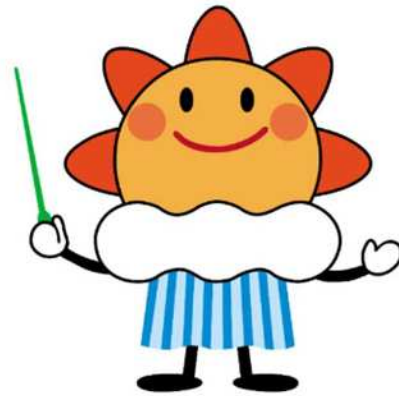
新たな防災気象情報の
特設サイト↓



- ✓ 新たな防災気象情報の概要ほか説明資料
- ✓ チラシ・リーフレット等の広報資料
- ✓ 新たな防災気象情報の説明資料
(パワーポイント資料等)
- ✓ 関連サイトへのリンク

気象台では、新たな防災気象情報の利活用に関する普及啓発、適切な防災気象情報の発表、分かりやすい説明に努めてまいります。

ご清聴ありがとうございました



気象庁
マスコットキャラクター

はるるん



気象庁火山防災
マスコットキャラクター

ぼるけん

チラシ・リーフレットの紹介



防災計画等を有する組織向けのチラシ (A4・両面)

- 防災気象情報をトリガーに行動する様々な組織向けに、防災計画・マニュアルの点検・見直しを促す内容。
- 印刷物としてだけでなく、メール等でも配布しやすいA4表裏のチラシ。
- 関係部局を通じて、学校、インフラ・ライフライン企業、要配慮者施設等に配布する想定。
- 自治体等で改編し住民周知用に配布することも想定。



一般住民向けリーフレット (A4・3つ折り)

- 気象台が主催・参加する様々なイベントで不特定多数に配布。
- 関心のない方にも目にとまり、情報の入手方法と警戒レベルに応じた避難の判断を中心とした内容。
(令和8年度の変更点は強調していない)



子ども向けリーフレット (A4・2つ折り)

- 気象台が主催・参加する様々なイベントや出前授業で配布。
- 一般向けの内容に比べてイラストを多用し表現を簡易にすることで、子どもでも理解しやすい内容。
(令和8年度の変更点は強調していない)